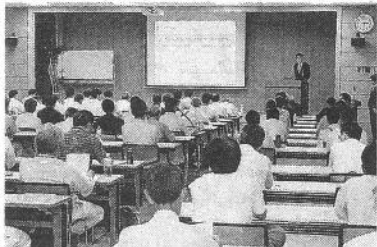


# 120人参加、ひび割れ抑制学ぶ

## コンクリート診断士会が講習会



福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）は14日、福井市大手2丁目の福井県教育センターで「コンクリートのひび割れ抑制対策に関する講習会」山口県のひび割れ抑制システムの取組みと

新たな展開」を開催し、参加した約120人はひび割れ抑制に対する理解を深めた。福井県建設技術公社らが共催。

冒頭、山川会長が「構造物を最初に作る時点から、より良い品質の物を作れば、長期的に健全な状態を保てる。品質確保だけで無く維持管理にも繋がる、非常に意義深い講習会になると感じている」とあいさつし「写真。

続いて福井工業高等専門学校校長で、コンクリート構造物の品質確保小委員会の委員長を務める田村隆弘氏が趣旨を説明した。

講演では元山口県職員で徳山工業高等専門学校客員教授の二宮純氏ら、「山口県のひび割れ抑制システム」に深く関わった講師4人が、これまでの取組みや成果などを説明。

その中で二宮氏は、形状や寸法が類似した50リット・ブロックにおいて

10種類の対策により施工を行い、各対策の抑制効果・施工性・経済性を確認する試験施工など、山口県での取組みを紹介。ひび割れが起きてから対処するのでは無く、発注者、施工者らが協働し、長持ちする良いコンクリート構造物を作ることが大切であるとし、参加者らは熱心な様子で聞き入っていた。